

日退教発19-33 号  
2019 年10 月30 日  
(FAX 送信2 枚)

日本退職教職員協議会  
各単会 会長様

日本退職教職員協議会  
会長 竹田邦明

「法の番人として実質審理を行い公正な判決を求める要請」  
団体署名のとりくみのお願い【再 送】

日頃からのご活躍に心から敬意を表します。

さて、辺野古新基地建設問題について、沖縄県は国を相手取りこの間2本の裁判を提訴しています。そのうち「関与取り消し訴訟」は10月23日、沖縄県の訴えを悉く却下する不当な判決を福岡高裁那覇支部が下しています。

もう一つの「抗告訴訟」につきまして、かねてより辺野古問題で共同行動をとりくんできた市民団体「止めよう！辺野古埋立て」国会包囲実行委員会が、当該裁判で那覇地方裁判所が実質審理を行い、法の番人として公正な裁判を行うことを求める要請を那覇地方裁判所に提出することをよびかけ、平和フォーラムはこのよびかけに協力していくこととしました。

日退教は平和フォーラムの取り組み要請を受け、団体署名の取り組みを行うこととしました。

つきましては、各単会からの団体署名へのご協力をお願いします。署名はFAXにて、下記のピースボート事務局の野平様宛に送信してください。

記

1. 署名 「法の番人として実質審理を行い公正な判決を求める要請」 団体署名
2. 概要
  - (1)署名用紙 添付しました署名用紙をご使用ください。
  - (2)集約日 2019年11月19日(火)
  - (3)とりくみ 各単会の団体署名
  - (4)集約方法 FAXで返送してください。押印不要。
  - (5)集約先 ピースボート事務局 野平宛  
FAX：03-3363-7562
3. 添付書類 団体署名用紙